

砂層型メタンハイドレートフォーラム 2023

「フェーズ4」の5年目、データ取得作業を継続中！

本日の講演について

MH21-S研究開発コンソーシアム (MH21-S)
プロジェクトマネージャー (JOGMEC) 松澤 進一

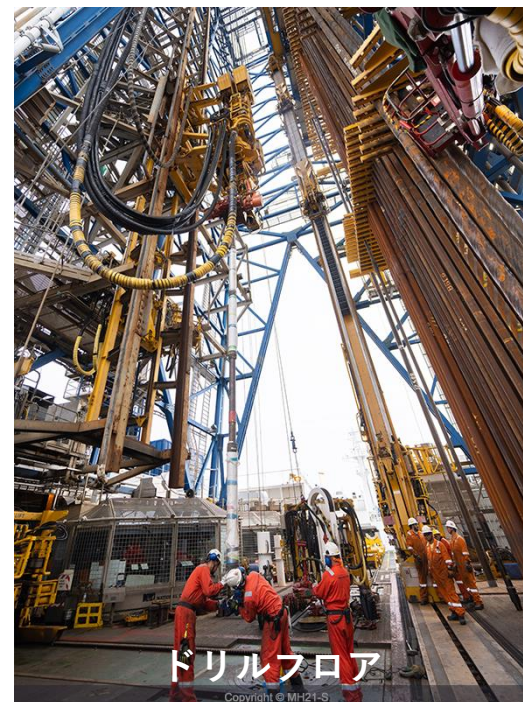
2024年2月27日 (火)

「フェーズ4」の5年目、データ取得作業を継続中！

試掘・簡易生産実験



志摩半島沖にて2023年5月29日より8月8日までの期間、試掘・簡易生産実験を実施。



「フェーズ4」の5年目、データ取得作業を継続中！



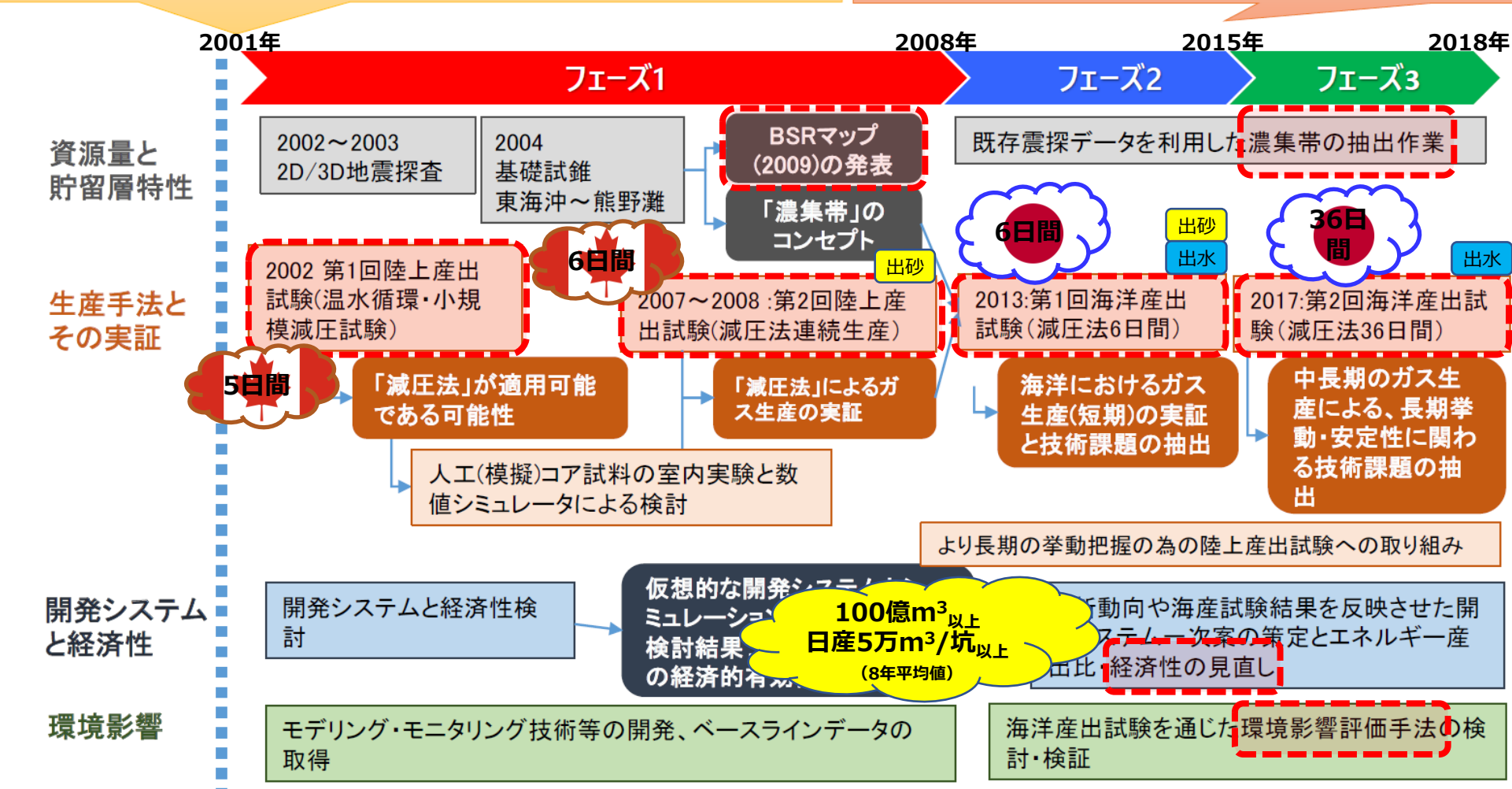
アラスカ長期陸上産出試験



2023年9月19日より試験作業を開始、
10月24日よりガス生産を開始。

旧開発計画（～フェーズ3）の概要と成果

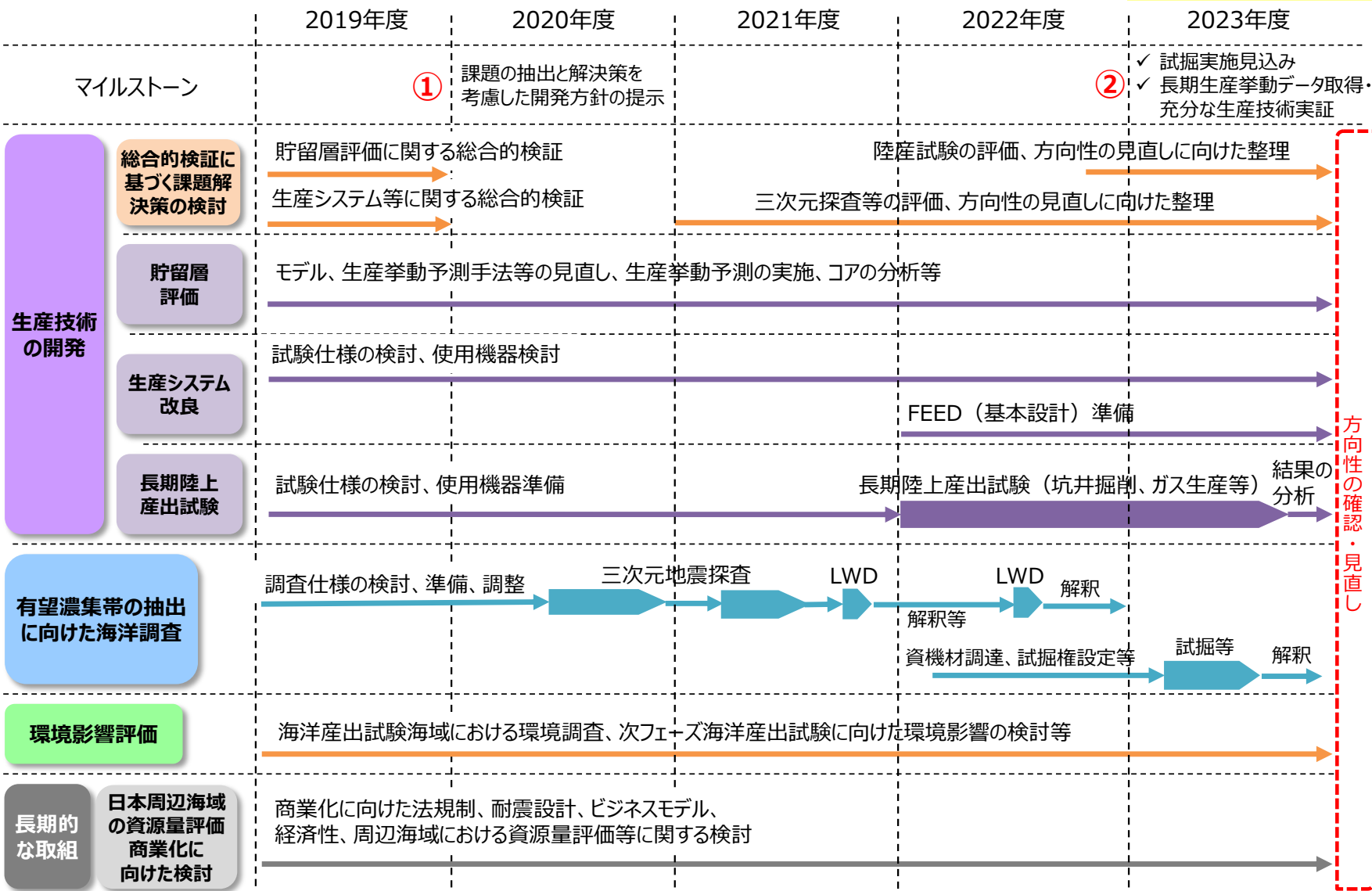
2001年:「我が国におけるメタンハイドレート開発計画」
 2013年:「海洋エネルギー・鉱物資源開発計画」



- 2001年に経済産業省が「我が国におけるメタンハイドレート開発計画」を発表して以降、**メタンハイドレートの研究開発を実施**。
- フェーズ3（～2018年）までの成果として、**日本周辺海域でのメタンハイドレート濃集帯の抽出**や、**カナダでの2回の陸上産出試験**及び**東部南海トラフでの2回の海洋産出試験**で**減圧法の有効性を実証**するなどの実績を積み上げ。
- 長期の安定生産技術・ガス生産量変化の把握**、第3回海洋産出試験候補地となる**有望濃集帯の抽出**、を目的とした**フェーズ4へ移行**。

フェーズ4の実行計画 ※1年延長時

フェーズ4の全体目標
 次フェーズ海洋産出試験に進むための生産技術と資源量評価の環境が整備されていること。



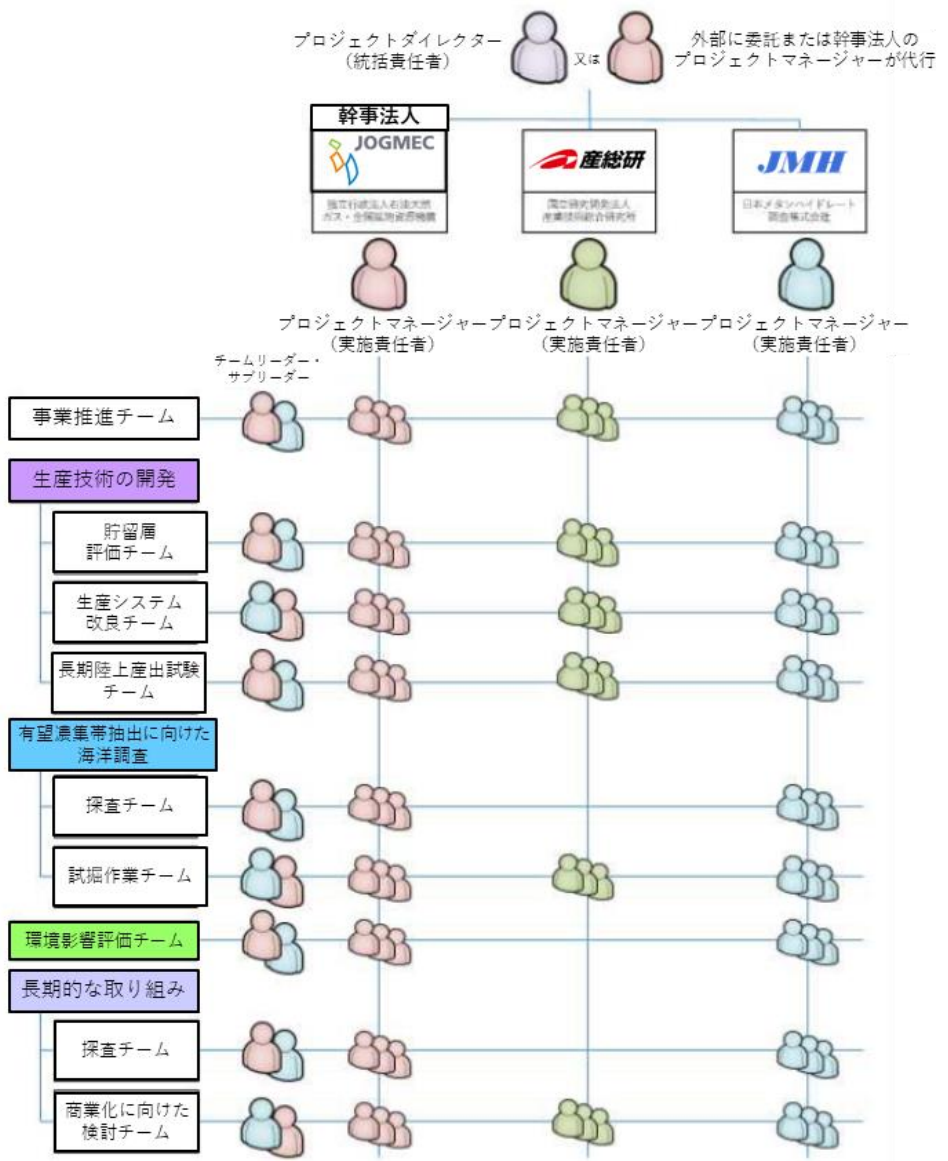
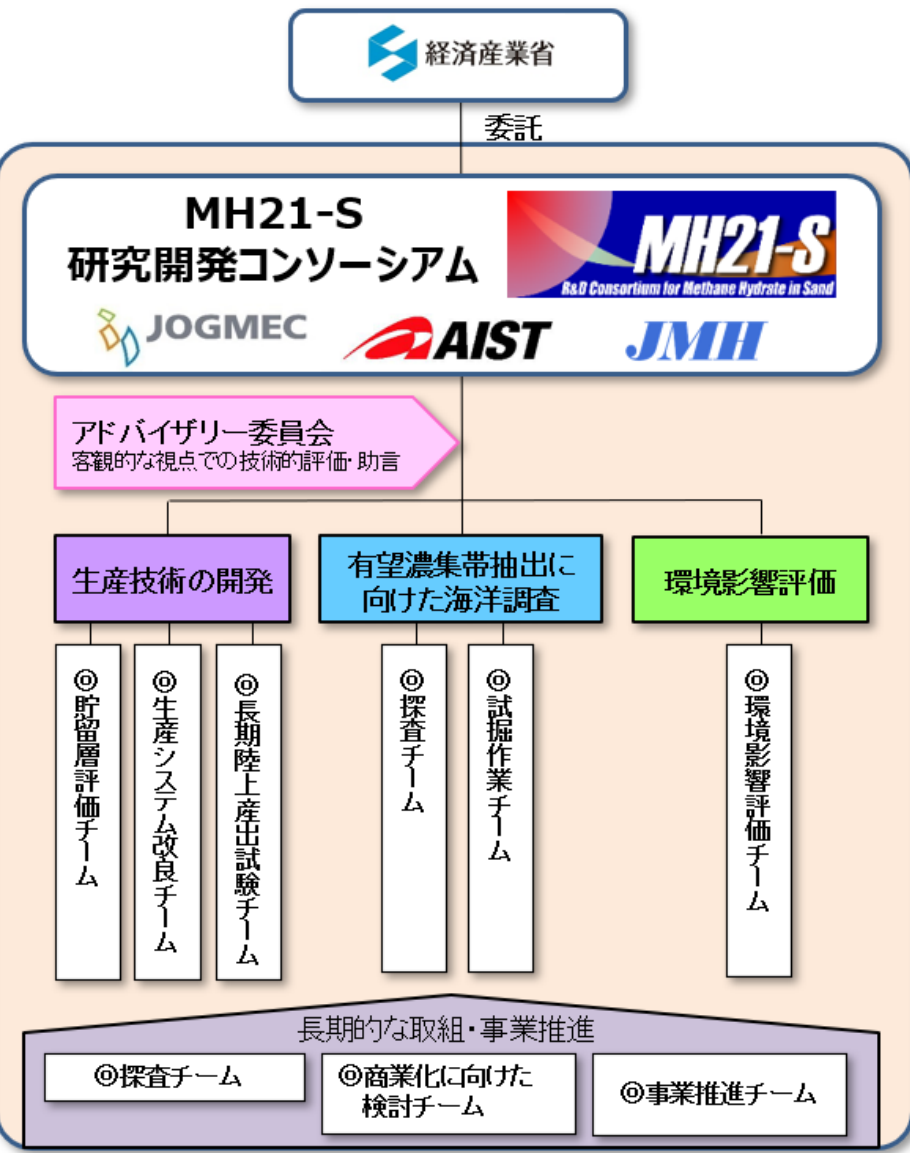
■ MH21-S研究開発コンソーシアムが、**第3期海洋基本計画**（2018年5月閣議決定）及び**海洋エネルギー・鉱物資源開発計画**（2019年2月経済産業省改定）に基づき、**2019年度から2022年度**までの期間（フェーズ4）の**目的と目標、実施体制、実施内容**を定めたもの。

■ ① **生産技術の開発** ② **有望濃集帯の抽出に向けた海洋調査** ③ **環境影響評価** ④ **長期的な取組**からなる。

■ **第38回メタンハイドレート開発実施検討会**（2021年11月17日）にて実施スケジュールを見直し（**1年間延長して2023年度末まで**とする）。

方向性の確認・見直し

フェーズ4の実施体制



- **JOGMEC、AIST及びJMHの3社はコンソーシアム (MH21-S研究開発コンソーシアム)** を組織し、経済産業省より研究開発事業を受託。
- 研究開発の実施に当たっては、**組織横断的なチームを編成**し、縦割りを排して、効率的に研究を推進。
- MH21-S各法人の実施責任者である**プロジェクトマネージャー**と共に研究テーマごとのチームに**チームリーダー**を配置し、**組織及び事業実施の進捗管理**を行う。
- **アドバイザー委員会**などを通じて**客観的な視点での技術評価や助言**を積極的に取り入れる。

本日のプログラム

時間	講演内容	講演者
13:30~13:35	開会/事務局からの連絡	MH21-S 事業推進チームリーダー 青木 太郎
13:35~13:45	本日の講演について	MH21-S プロジェクトマネージャー (JOGMEC) 松澤 進一
13:45~14:00	メタンハイドレート研究開発の今後の計画について	経済産業省資源エネルギー庁 資源開発課 課長補佐 井上 加代子
14:00~14:25	試掘・簡易生産実験の実施報告	MH21-S試掘作業チームリーダー 平田 実雄
14:25~14:50	アラスカ陸上産出試験の進捗 - 試験開始！ -	MH21-S長期陸上産出試験チームリーダー 沖中 教裕
14:50~15:15	海域環境調査の進捗	MH21-S環境影響評価チームリーダー 荒田 直
15:15~15:40	商業化に向けたビジネスモデルの検討	MH21-S商業化に向けた検討チーム 南條 貴志
15:40~16:00	【 休憩 】	
16:00~16:20	【 講演で頂いたご質問への回答 】	
16:20~16:25	閉会/事務局からの連絡	MH21-S 事業推進チームリーダー 青木 太郎

謝辞

本フォーラムでの発表内容は、経済産業省の委託により実施しているメタンハイドレート研究開発事業において得られた成果に基づいています。

以下の関係先に謝意を表します。

- 経済産業省資源エネルギー庁



- MH21-Sの活動に協力いただいている皆様

- 作業・研究委託先の各社・大学・研究機関各位
- 地元自治体・漁業関係者各位

- 長期陸上産出試験関係者各位

- 米国エネルギー省 (DOE), 国立エネルギー技術研究所 (NETL), 米国地質調査所 (USGS), アラスカ州天然資源局 (SOA-DNR)
- アラスカプルドーベイ油田鉦区権者各社 (Hilcorp, ConocoPhillips, ExxonMobil, Chevron)

